

ほけんだより

令和5年9月発行
宜野湾保育所 看護師作成



バックナンバーはこちら→

成長に応じて、起こりやすい事故は変化します。ただ寝ているだけの0カ月のときでも事故は起こります。昨日できなかったことが今日はできるようになるのが子どもです。できる限り危険を事前に排除し、不慮の事故が起こらないように注意しましょう。

9月は「防災の日」「救急の日」があります。この機会に災害や事故の対策について考えていきましょう。



防災週間

(8月30日～9月5日)

9月1日は**防災の日**。9月9日は**救急の日**です。いざという時のために子供を連れて行ける避難場所や避難経路を確認しておきましょう！また、自宅にある救急箱の中には必要な物が揃っているか、お薬の使用期限は問題ないか確認しておきましょう！



お子さまにも火事や地震が起こったらどのように行動すべきか、煙を吸わずに逃げる方法や地震の時は机の下に隠れるなど、日頃から繰り返し説明し緊急時に備えるようにしましょう。保育所では毎月、避難訓練を実施しています。



「あわてず、はしらず
いっちに、いっちに！」



ちゃんと練習できたね！

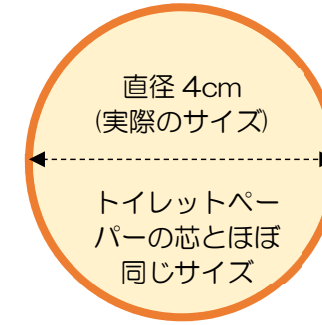


避難するときは
お口をおさえるよ！

誤飲 はほぼ100%の子どもが経験する？！

誤飲チェッカー

この円の中に入るものは誤飲の危険性があります。身の周りにある物をチェックしてみましょう。※折り曲げて入る物も誤飲の危険があります。



この大きさのものは赤ちゃんの口に入ります

年齢別の注意点をアドバイス！

あっと言う間にできることが増えて活動の幅が広がると、それに伴い危険も増えてきます。**子供の死因第1位は不慮の事故**。自宅の中にも危険が隠れています。この機会にもう1度確認してみましょう。

	誕生	3カ月	4カ月	5カ月	6カ月	7カ月	8カ月	9カ月	10カ月	11カ月	1歳	1歳1カ月	1歳半	2歳	3歳	4～6歳
運動機能の発達		足をバタバタさせる		見たものに手を出す 口の中に入れて	寝返りをうつ	すわる	はう	物をつかむ	つかまり立ちする		一人歩きをする	スイッチやノブなどをつまむ	走る・上る	階段を上り下りする	高いところへ上れる	
転落	親が子どもを落とす	ベッドやソファから転落 ! 転落の危険があるところに寝かせない				歩行器による転落	階段からの転落 ! 階段に柵を設置する	バギーやイスからの転落			階段の上り下りの転落 ! 階段に滑り止めをつける		窓やバルコニーからの転落 ! ベランダに出られないように鍵や柵をつける		高いところへ上れる	! ベランダにふみ台になる箱などを置かない
切る・はさむ・ぶつける				床にある鋭い物(ハサミ、カッター、画びょうなど) ! 手が届く範囲に放置しない					鋭い角の家具や建具 ! 家具の角にクッションテープなどを取り付ける			ドアや窓に手をはさむ ! ドアや窓の開け閉めをゆっくり		引き出しに手をはさむ ! 引き出しをロックする		
熱傷	熱いミルク、熱い風呂の湯			ポット、アイロン ! やけどの原因になるものは近くに置かない			ストーブ、ヒーター ! ストーブやヒーターは柵などを囲う				食卓の熱い汁物 ! 手の届かないところに置く。テーブルクロスは使わない			マッチ、ライター、花火 ! マッチやライターの管理を徹底。危険であることを教える		
窒息(誤飲)	ふかふかの寝具 ! 柔らかい寝具を避ける。枕元にぬいぐるみを置かない			タバコ、ピン、小物の誤飲				ひもやよだれかけの首の巻き付き ! 長いひもを持たせない。よだれかけのひもも注意		ナッツ類		ビニール袋による窒息 ! ビニール袋は手の届かないところへ片づける				
溺水	入浴時の事故							浴槽への転落 ! 風呂場のドアを必ず閉めて鍵をかける。残り湯をためない						浴槽やたらいでの水遊び ! 子どもだけで遊ばせない		

「miku 2014年 vol.38」より

こども医療でんわ相談



★こども医療電話相談事業【#8000事業】とは

- ★保護者の方が、休日・夜間のこどもの症状にどのように対処したら良いのか、病院を受診した方がよいのかなど判断に迷った時に、小児科医師・看護師に電話で相談できるものです。
- ★この事業は全国同一の短縮番号#8000をプッシュすることにより、お住まいの都道府県の相談窓口へ自動転送され、小児科医師・看護師からお子さんの症状に応じた適切な対処の仕方や受診する病院等のアドバイスを受けられます。

★#8000の使い方

- 1 発熱、頭をぶつけた
- 2 こどもがぐったりして少し熱があるんですが...
休日・夜間のこどもの症状に困ったら#8000をプッシュ
- 3 もうしばらく様子を見ることができず...
すぐ病院に行って、受診してください
医師・看護師が電話でアドバイス

#8000をご利用いただけない地域からおかけの場合は「098-888-5230」へおかけ下さい。

